

地域再生計画評価調書(まち・ひと・しごと創生寄附活用事業効果検証調書)

地域再生計画の名称	今治市まち・ひと・しごと創生推進計画	地域再生事業の名称	今治市まち・ひと・しごと創生推進事業	令和4年度評価
-----------	--------------------	-----------	--------------------	---------

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

評価指標		基準年数値		目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度						達成度についての分析
				2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	最終年目標数値 2024年	
目標1	転出超過数(新たな雇用を創出し抑制)	807 人	目標 (累計)	677 人	569 人	478 人	401 人	336 人	336 人	目標1の転出超過数数について、令和4年単年の目標値を140人上回る618人の転出超過数となった。 令和3年と比較すると、全国的には市区町村間移動者数が増加しているが、本市の転入者・転出者数はともに減少している。
			実績 (累計)	677	1,246 人	1,724 人	2,125 人	2,461 人	2,461 人	
			達成度	593 人	693 人	618 人	人	人	人	
				593	1,286	1,904				
目標2	子育ての環境や支援の満足度の割合	17.3 %	目標	%	%	%	17.3 %以上	%	%	
			実績	(次回アンケートR5年度実施予定)						
			達成度			100.0%				
目標3	観光入込客数	275.6 万人	目標	289.2 万人	292.0 万人	295.1 万人	298.7 万人	302.8 万人	302.8 万人	目標3の観光入込客数については、目標に対する達成度は、-251.1%となった。 withコロナ時代を迎え、コロナ禍前には及ばないものの、実績値が前年度より大幅に増え、観光客が戻りつつある。中でも県外客の増加が目覚ましく、前年度対比90%増であった。
			実績	138.6 万人	121.2 万人	207.3 万人	万人	万人	万人	
			達成度	-503.7%	-567.6%	-251.1%	-1013.2%	-1013.2%	-1013.2%	
目標4	住み続けたいと感じる市民の割合	79.0 %	目標	%	%	%	79.0 %以上	%	%	
			実績	(次回アンケートR6年度実施予定)						
			達成度							

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附の実績

寄附受入れ額計				178,400千円
	法人名	本社所在地	寄附額	寄附対象事業
(別紙のとおり)				

寄附活用事業の実績及び今後の方針等

寄附金を充当した主な事業	事業費	寄附受入額	主な取組
「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクト	1,000,000千円	176,000千円	【「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクト】 今治市ホームページ等に掲載し、プロジェクトを広く周知した。また、企業版ふるさと納税としていただいた寄附金を、スポーツ振興基金に積み立てた。 令和4年7月および令和5年5月に、FC今治サッカー専用スタジアム建設事業補助金354,481千円（合計額）を交付。市のスポーツ振興事業として、FC今治新スタジアムオープニングイベントおよびスポーツトラックターの購入費用に計9,378,138円を活用した。
都市防災推進事業	695千円	300千円	【都市防災推進事業】 今治市緊急防災情報伝達システムに係る緊急告知ラジオの電波状況を改善するため、要望のあった居住者宅に対し、FMアンテナの設置を行う。
観光振興事業	182,622千円	（非公表）	【観光振興事業】 来島海峡展望館の観光案内委託料の一部に充当した。
今治ブランド推進事業	30,143千円	（非公表）	【今治ブランド推進事業】 令和3年度庁内部局横断型若手プロジェクトチームが取材・編集した冊子『今治ワクワクミリョク100名鑑』は大好評を博し、3ヶ月で1万冊を皆配布。企業版ふるさと納税でいただいた寄附金を1万部を増刷する費用の一部に充当した。
事業効果及び今後の取組			
【「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクト】 将来のJ1リーグ昇格を見据えた「進化するスタジアム構想」および「にぎわいと交流の創出拠点」の整備を継続するため、「今治市まち・ひと・しごと創生推進計画」の計画期間が終了する令和7年3月31日まで寄附募集期間を延長。引き続きFC今治をバックアップする形でマッチング会や市HP等で効果的なプロジェクトの周知を図り、いただいた寄附金の10％分は今治市のスポーツ振興のための事業に活用する。 【都市防災推進事業】 電波状況を改善することにより、より多くの市民に対し緊急告知情報等の提供が可能となった。引き続き難聴地区の電波状況改善に努めていきたい。 【観光振興事業】 観光案内の委託により、満足度の向上につながった。今後は、インバウンド対応についても積極的に取り組みたい。 【今治ブランド推進事業】 『今治ワクワクミリョク100名鑑』は反響が大きく、増刷することで、より多くの方に今治のキラーコンテンツをPRできた。また『100名鑑』をモチーフにしたラッピングエレベーターが市庁舎内に製作されるなど、事業の拡がりもみせている。2万部の在庫がなくなり、令和5年度において更に1万部増刷予定。 【全体】 企業版ふるさと納税を活用した事業について周知するとともに、市外企業からの寄附につなげることができた。今後も、寄附を検討する市外企業にわかりやすい寄附対象事業の周知方法を検討するとともに、広く周知していく。			

評価及びそれを受けての市の方針

外部有識者による評価	議会からの意見	今後の方針、改善点など
☒ 総合戦略のKPI達成に有効であった ☐ 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない (主な意見) 今後の方針のとおり事業を進めることで了承した。	特段の指摘なく了承された。	今後も、寄附を検討する市外企業にわかりやすい寄附対象事業の周知方法を検討し、広く事業を周知していく。また、寄附企業との官民連携による地方創生事業のより一層の推進を図る。 今治市のスポーツ振興のための事業については、コロナ禍で運動不足となっている児童生徒の体力向上に資するものや、スポーツ指導者の公認指導資格およびライセンス取得にかかる経費の一部補助、スポーツ協会に所属する団体が備品を購入した際の経費の一部補助などのきめ細かな取組みを実施し、青少年の健全育成、各種目競技力の向上、スポーツ人口および交流人口の拡大を図る。